

盛岡信用金庫×フコクしんらい生命保険株式会社 「SDGsに係る共同寄付」寄付金贈呈式

9月12日、盛岡信用金庫（浅沼晃理事長）とフコクしんらい生命株式会社（櫻井健司代表取締役社長）から本会へ14万円の共同の寄付金が贈呈されました。

盛岡信用金庫とフコクしんらい生命株式会社では、SDGsの達成に向けた取組の強化と地域社会への貢献を目的として、2022年から保険販売を通じた共同寄付の取組を始めています。共同寄付とは、対象商品である「ハローキティの定期保険」の年間販売件数に所定の寄付額単価を乗じた金額を、盛岡信用金庫が選定した公共性・公益性の高い寄付先に、マッチングギフト方式により盛岡信用金庫及びフコクしんらい生命株式会社がそれぞれ同額寄付をするスキームです。

本会の長山洋会長は「私たちとしても皆様の社会貢献活動のお手伝いができることうを嬉しく思う。頂戴した寄付金は、災害が発生した際に被災者を支援するための活動資金として活用させていただく。」と謝辞を述べました。



一般社団法人 生命保険協会岩手県協会 福祉車両等贈呈式

10月11日、一般社団法人生命保険協会岩手県協会（村上陽人会長）から、福祉巡回車両、車いすの寄贈と、障がい者支援団体助成金の寄付をいただきました。同協会からは、平成3年から毎年、福祉車両等を寄贈いただいており、今回で33回目となります。福祉巡回車両は田野畠村社協、車いすは県内の高齢者施設など8箇所、助成金はJDDnet（一般社団法人日本発達障害ネットワーク）いわてに寄付されました。

村上会長から「当会では、他に献血活動や被災地支援、職員による募金活動などの社会貢献活動を行っている。この活動が地域福祉の充実の一助となればこの上ない喜びである。」と目録が手渡され、本会の長山洋会長は「長い間、福祉従事者へ支援いただき、感謝を申し上げる。これまで同様、各団体で地域福祉の向上に努め、有難く活用させていただく。」とお礼の言葉を述べました。



岩手県共同募金会

令和5年度共同募金運動開始セレモニーを開催

9月30日、盛岡市材木町「材木町よ市」を会場に、岩手県共同募金会（長山洋会長）と盛岡市共同募金委員会（佐藤光彦会長）との共催により、第1部はセレモニー、第2部は寄付つき商品紹介の2部制で開催されました。

盛岡市共同募金委員会の佐藤会長のキックオフ宣言からスタートした第1部のセレモニーでは、長山会長の挨拶に続き、盛岡情報ビジネス＆デザイン専門学校の学生が制作した「共同募金運動PR動画」が放映され、募金の呼びかけが行われました。

続いて、株式会社ベルジョイスとサントリーフーズ株式会社東北支社が協力して実施した寄付つき飲料販売による寄付金が、ベルジョイスの阿部修取締役常務執行役員及びサントリーフーズの福田純也第一支店量販一課長から長山会長に贈呈されました。

第2部の寄付つき商品紹介では、ベアレン醸造所、ぴょんぴょん舎、川上塗装工業、フラット寺町、となんカナン、紫波フルーツパークの各企業等から商品の紹介や企業・団体のPRをいただき、その後、会場の皆様に試飲・試食が提供されました。



左から長山洋会長、阿部修取締役常務執行役員、
福田純也第一支店量販一課長

寄付つき商品の試飲・試食

皆様のご支援ありがとうございました

被災者支援、災害ボランティア活動をはじめとする本会事業の推進のため、ご寄付をいただきました。感謝申し上げます。（敬称略）

●盛岡信用金庫	70,000円(9月12日)
●フコクしんらい生命保険株式会社	70,000円(9月12日)
●特定非営利活動法人 市民活動センターまにわ	94,478円(9月14日)
●カゴメ株式会社東北支店	食品(9月19日)

// 役員就任のお知らせ //

岩手県社会福祉協議会は、欠員となっている役員及び評議員を選任しました。

●役員

副会長 佐藤 光彦（盛岡市社会福祉協議会 会長）
理事 高橋 照幸（花巻市社会福祉協議会 会長）
理事 吉田 守実（岩手県ボランティア団体連絡協議会 会長）

●評議員

千葉 源治（社会福祉法人岩手県身体障害者福祉協会 会長）
北村 充（一般社団法人岩手県介護福祉士会 会長）

// 新任職員の紹介 //

10月から岩手県社会福祉協議会に次の職員が採用されました。どうぞよろしくお願いします。

●地域福祉企画部

近村 千賀子 主事
岩崎 瑞子 相談員

●福祉経営支援部

日野岳 沙衣 主事

●福祉人材研修部

釜島 豪顕 主事